

2024年3月15日
公益社団法人日本語教育学会

2023年度日本語教育学会秋季大会
大会若手優秀発表賞 選考結果報告

1. 選考対象者数※1

14名

2. 授賞者

(1) 口頭発表

- ア. 受賞者：石垣尚子氏（横浜国立大学大学院生）
- イ. 発表題目：外国人幼児に向けた概念形成のための日本語支援
—ダイナミック・アセスメントを援用した分析—

(2) ポスター発表

- ア. 受賞者：松本美香子氏（早稲田大学大学院生）
- イ. 発表題目：移住地における外国人信徒の内的世界と日本語の意味付け
—東日本大震災被災者のライフストーリー—

※1 大会での筆頭発表者のうち、[表彰規程](#)で定める「若手」に当たる者（有効期限付き学生証の写しを本会事務局に提出した者）を選考対象といたしました。

<連絡先>

公益社団法人日本語教育学会（大会担当）
〒101-0065 東京都千代田区西神田 2-4-1 東方学会 2F
Email: taikai-office(アットマーク)nkg.or.jp

2023年度秋季大会 大会若手優秀発表賞授賞者

本賞は、春季・秋季の各大会において発表された口頭発表・ポスター発表の発表者のうち、特に優れていると認められた若手の筆頭発表者を表彰するものです。

1. 口頭発表

(1) 授賞対象者

石垣尚子氏（横浜国立大学大学院生）

(2) 発表題目

外国人幼児に向けた概念形成のための日本語支援
—ダイナミック・アセスメントを援用した分析—

(3) 授賞理由

本研究は、支援の必要性が認識されながらも、行政措置が行われていない外国人幼児に対する研究で、幼稚園での活動を通じた経験の機会が、日本語が未熟という理由で損なわれないようにするために、どのような言語的支援が必要かを明らかにしようとしている。そのために発表者は幼児教育現場へ9か月に及ぶ入り込み支援を行い、外国人幼児がどのように言語および概念を獲得したのか、ダイナミック・アセスメントを使用して分析した。日本語が未熟なために幼児が困難を抱えていることを示し、そのような幼児に対する日本語支援の在り方についてその可能性を示した。さらに、わかりやすく伝えようとプレゼンテーションを工夫していた点も高く評価された。これらの理由から大会若手優秀発表賞にふさわしいものと判断した。

2. ポスター発表

(1) 授賞対象者

松本美香子氏（早稲田大学大学院生）

(2) 発表題目

移住地における外国人信徒の内的世界と日本語の意味付け
—東日本大震災被災者のライフストーリー—

(3) 授賞理由

本研究は、被災経験のあるカトリック外国人信徒の語りにより、移住者はどのように日常生活で宗教行為を行い、日本語に意味付けを行っているのかを明らかにすることを目的としている。調査協力者に対して半構造化インタビューを実施し、その語りを丁寧に分析することで、移住者の内的世界を明らかにしようとしている点にオリジナリティーがあり、聞き手を引き込む発表手法と合わせて高く評価された。あわせて、研究で得られた知見の価値を広く説得的に示すことで、研究をさらに発展させることが見込まれる。これらの理由から大会若手発表賞にふさわしいものと判断した。

以上